

さんてら幼稚園 口コミ情報

さんてら幼稚園のことをより知っていただくために、現在、園に通っている子どもたちの保護者の声を集めました。幼稚園・保育園選びの一助となれば幸いです。(2019年12月保護者の会発行・第4版)

アットホームな幼稚園

先生と園児、先生と保護者、どちらも距離が近く、話しやすい。

園児の人数が多かったり、クラスに一人の先生では、どんなに一生懸命でも先生の目は、全ての園児に届きません。なので、1クラスに先生が複数いるメリットは、とても大きいです。園児一人ひとりを大切にしてくれる園です。

保育中に見学できる機会が多いので、子供の成長がよく分かる。

私立幼稚園に行っているお友達に聞くと、全然子供の様子がわからないと言っていますが、三寺は、子供の様子が分かってとてもいい。

保護者同士がとても仲が良い。保護者も学年の枠をこえて、交流している。

毎日の送り迎えの時、「おはよう」「お疲れさま」とみんなあいさつしてくれる。お母さんに笑顔が多いのは、いいこと、大切なことだと思う。

お母さん、役員さんが優しい。お迎え、お見送りの時に、お母さんたちとお話ができて、困っているときは、「大丈夫？」と声をかけてもらえる。

大人数の幼稚園だと、人数の関係で年長さんしか参加できない行事も、三寺は、年中、年長が1クラスずつの少人数なの

で、年中さんも出来る体験が多いです。

毎日の送迎、お弁当など、保育園や私立幼稚園に比べると公立幼稚園は保護者の出番が多く、忙しく感じることもあります。でも、幼稚園や子供達と関わる機会が多いからこそ、子どもの成長を身近で感じることができます。

園行事、保護者の負担等、入園当初は多いと感じましたが、慣れました。保護者が負担する分については、自分たちで調整できる部分もあります。

役員の仕事を通して、地域の事・教育の事など、一人では集められない情報を広く知ることができた。友達や地域の方々とも知り合えて、転居までもない見知らぬ土地にあつという間に慣れました。

区外の私立幼稚園にバスで通わせることも検討しましたが、非常時の送迎が安心な、最寄りの三寺幼稚園にして良かった。もし震災等があった時、橋が渡れなくなるかも。

徒歩すぐのところスーパー、100均があり、登園時間＝開店時間。時間が有効に使えます。

教職員の基本姿勢

園児が教職員によくなつについて、ハグしたり、手をつないだりして、嬉しそうにしている。

先生の皆さんの雰囲気がとても良いです。連絡事などもしっかりしてくれるので、安心して子供を任せられます。

先生方が子供達一人ひとりの心の状態を考えてくれているのが、普段の様子からよくわかる。

マイペースな子供への配慮が感じられる。

園長先生の言葉で、園では「待つことを大切にしている」と、言っていました。親がなかなか出来ないことなのでとても良い。

園長先生が校長先生と兼任されているので、小学校入学への不安もなくなります。

たくさんほめて認めてくれる。先生がそれを、保護者にも伝えてくれるので、家でもう一度ほめることができる！

様々な人とのかわわり

学年をまたいで、兄弟のように遊べる。

年長組・年中組の交流が多いので、自然に年長組は上級生らしく、年中さんのお手本になるよう行動し、年中さんは年長組を見て、こんなすごい年長さんになりたいと思って、成長していると思う。



外国人家庭も受け入れているので、様々な文化が身近に感じられて面白い。英語圏の方もおられることから、忘れかけていた英語の勉強に取り組むきっかけになっている。それぞれのお国柄に学ぶことも多い。

地域やお友達のおじいちゃん、おばあちゃんとの交流の機会があり、昔の遊びを楽しみながら体験することができる。

ひよこ組（未就園児クラス）との交流も多いので、未っ子の娘にも、小さい子に対する優しい気持ちで自然と育っている。

「遊び」が「学び」の幼稚園

遊び足りない子は、降園後、園庭で引き続き遊べる。

園庭開放では、小学校の広い校庭で遊べて、ストレス発散になっていると思う。

「ひらがな」、「さんすう」の時間はないけれど、お友達と数やひらがなを教え合ったり、驚くくらい、たくさんのことを遊びから覚えます。ハンドベルの演奏も遊びから覚えています。

子どもたちの好きなことをとにかくいっぱいさせてくれる。思いっきり遊べる。

プールも晴れていれば毎日入られて、小学校の大きなプールにも入れます。

体操教室、なわとび教室、サッカー教室が年に数回あり、体を動かすことって楽しいと思わせてくれる経験ができる！

食育や自然とのかかわり

自分たちで育てたお米で作ったおにぎりをとてもおいしそうに食べていて、ご飯の炊き方などを楽しそうに教えてくれたのもうれしい出来事でした。

どんぐり拾いや芋ほり遠足、遊園地遠足、プラネタリウムなど外部に出かける行事があり、子どもがとても楽しんでた。

いつもは野菜を食べない我が子が幼稚園で育てたお野菜は、パクリ！本当にびっくりです。

田植えからお米の脱穀まで普段できない体験ができて、子供もうれしそう。

三寺小学校との交流

小学校の学芸会、音楽会の練習風景を見たり、作品を見たりして、良い刺激をたくさんもらっています。それをもとに形にしていけるので、子どもたちのカッコイイ！やってみたい！がうま引き出されているように思います。

三寺幼稚園では、小学校が授業で使っていないときに、校庭や体育館で遊ぶことができます。

小学校の生徒たちとの関わりがあり、園児たちも小学生を意識している。

図工、英語、給食体験等、学校が楽しみになるような経験ができる。

小学校隣接なのでお兄ちゃんお姉ちゃんに関わる機会が多いのもうれしい。

子どもの自発性、友達との協力を重視している幼稚園

子供に選ばせたり、子供の自発的な提案を尊重している。

年長になると、グループ活動が開始します。お当番や製作において、いろんな意見を出し合っ、子どもたちだけで活動します。先生は、時に見守り、時にうまく誘導してくれます。協調性も養われます。入学に向けて、大切な力を育ててくれます。

欠席したクラスのお友達を調べて、先生に報告する「お休み調べ」や、うさぎとカメのお世話（小屋の掃除、エサやり）当番を、子ども達だけでできるところがすごい！

運動が大好きなお友達が多いのは、三寺幼稚園の「チャレンジタイム」のおかげです。他の幼稚園のお友達に、一輪車、なわとび、逆上がり、フラフープ、うんていなど「なぜ、三寺には、こんなにうまくできるお友達が多いの？」とビックリされました。三寺の先生方は、子どもたちに楽しみながら、できないことにもチャレンジすることを教えてくださいます。

5年間、保育園に行かせていたのですが、三寺幼稚園に入ってから、お当番や「チャレンジタイム」があり、今までにできなかった役割への責任や新しいことにチャレンジする楽しみを知り、一日一日、子どもの成長をより感じるようになりました。



学級で「チャレンジタイム」として行うことで、苦手なことも、自然に楽しく、みんなでチャレンジできている。新しい、知らないことにたくさん挑戦できている。

「一人ひとりが主役」

のびのびと一人一人の子どもに合った指導をしてくれ、おゆうぎ会でも個性を生かしてくれます。

おゆうぎ会は、受け身ではなく、園児が考え、話し合い、みんなで楽しんで取り組むところがとても良い！

決められた表現をきっちりこなすのではなく、一人ひとりの個性や思いを生かした表現を考えたおゆうぎ会だった。

さんてらランドでは、子供たちが自分たちでお店屋さんや遊園地を作って、家族を招待します。とってもかわいらしく、みんなで協力して大きなものを作り上げる一大イベントです。

上の子が通っていた私立幼稚園では、発表会などの場で、大人から見てもすごいと思われるような難しい歌やセリフの長い劇などをするのに対して、三寺幼稚園では子ども自身が楽しめる歌やダンス、劇をしていると思った。

上の子が通っていた私立幼稚園の発表会は、舞台セットや衣装を先生や親が作るのを見栄えが良く、完成度の高い作品を観た保護者が満足するものでした。

それに比べて三寺幼稚園の発表会は、舞台セットや衣装を始め、お話まで子ども達が話し合

って作ることに、本当に驚きました。もちろん先生がお手伝いしてはいますが、子ども達が発案し、作っているの、満足しているのは第一に子ども達、という素晴らしいものでした。

お弁当について

お昼ご飯拒否があった息子。三寺の先生は息子の好きなものだけを入れて、食べなくても良いと対応して頂きました。たった2個のたこ焼き弁当を2ヵ月。給食でなくて良かった！手作り弁当だからこそ出来た事です。今ではお昼ご飯拒否もなくなり、お弁当が足りない息子。食物アレルギーや偏食でお悩みのママも、三寺なら手作り弁当で柔軟に対応して頂けます。

冬のお弁当は、温飯器に入れて温めてくれます。

温めると特に美味しく頂けるメニューを考えるのは、とても楽しいです。

グラタン、牛丼、カレーにシチュー、チーズがとろ〜りとろけるランチ…子どもに好評だった日は、喜びもひとしおです。墨田区の公立幼稚園は、どこも冬は温めてくれるようです。



自分のアルバムに大満足

さんてら幼稚園では、先生が普段から子どもたちの写真をたくさん撮ってくれます。

お母さんたちの協力もあって、写真は1枚30円という低価格。10枚買っても300円！我が家では、それを切り貼りしてアルバムにしているのですが、息子がそれをひんぱんにうっとり眺めています。(笑)

スマホ写真でなく、紙のアルバムがすごく嬉しいみたいです。1枚100~150円になる写真屋さん頼むのではなく、可愛い写真を惜しみなく買えるシステムを作るお母さんたちの協力体制も、素晴らしいと感じています。

量より質の幼稚園

他の公立幼稚園のお母さん達とたまたま交流があり気づいたのですが、三寺に限らず公立幼稚園には、以前、私立幼稚園の先生をしていたというお母さんや、学生時代に保育を専攻していたというお母さんがけっこう多いです。

公立幼稚園は、「運動・漢字・英語をやります！」というような、わかりやすい謳いもんがないので、「選ぶポイントが定まりにくい…ただ遊ぶだけで大丈夫なのかな…」と、私も入園前は少し思っていたのですが、幼稚園の先生経験者のお母さん達が選ぶ理由が、今はよ〜くわかります。

この2年間に、子どもの成長がギュッと盛りだくさん詰まっています。

そして、土台のできている三寺の子どもたちの創造力は、小学校に上がってから、さらに広がっていくのだろうな、という期待も持てます。

私の主観ではありますが、量より質で幼稚園を選びたい方には、三寺に限らず公立幼稚園を是非オススメしたいです。

まだまだ載せきれませんが、入園にご興味のある方は、毎週水曜日(10:00~11:40)に開かれている未就園児の会「ひよこ組」にぜひ遊びに来て下さい！